

承認欲求を満たすために SNSを利用する子どもたち

自分の意見や日常生活の様子を投稿したり、他の利用者とコミュニケーションをとったり、趣味についての情報を集めたりと、子どもたちはSNSをさまざまな形で活用しています。しかし、中には他人から認められたいという承認欲求を満たすために使って、SNSにふりまわされる生活を送ってしまう子どもたちもいるようです。

「いいね」の数＝他人からの評価？

SNSでは、友だちの数や、投稿に寄せられた「いいね」の数、コメントの数が数値として表示されます。こうした数の多さを自分が他人から認められた証だと考えている子どもたちは、決して少なくありません。そのため、友だちの数が減ったこと、「いいね」やコメントが全然もらえなかったことにショックを受けたり、他の利用者の投稿についての「いいね」の数と自分の投稿についての「いいね」の数を比較して落ち込んでしまったりするなど、評価の数を気にしすぎてストレスをためてしまうケースがあります。

※「いいね」とは……SNSの利用者が、気に入った投稿に対してボタンを押し、共感を伝える機能



友だちが減ってる。
僕の投稿、
おもしろくない
のかな……



この人の投稿、
またこんなに
たくさん「いいね」
がついている

子どもたちを守るために

SNSで友だちを増やしたい、もっと「いいね」が欲しいという思いなどから、投稿内容が過激になっていくケースがあります。例えば、公共の場での迷惑行為や危険行為、肌の露出など性的な要素を含むものを投稿してしまう子どもたちがいるので注意が必要です。

自分は問題がないと思うような投稿でも、他の人が見たときにどう感じるかを考える機会を設けるために、SNSの中に投稿してはいけないものはどんなことをクラスの中で話し合ってみましょう。



実生活での「満たされなさ」がSNS内での承認欲求に繋がるケースもあります。学校生活の中で子どもたちの居場所を作ってあげることも大切です。

